

今回の連載テーマ

おすすめの漫画紹介します

11月3日は「漫画の日」ということで、図書委員が皆さんにおすすめしたいと思う漫画を紹介します。
日本独自の文化として世界中で人気のある漫画ですが、ただ面白いだけではありません。学習に役立つ漫画もたくさんあります。
今回は科学と歴史の勉強になったという漫画を取り上げました。ぜひ読んでみてください。

<本の紹介>

『Dr.STONE』 稲垣理一郎/著 集英社

科学の勉強になりました。

この作品は、突如謎の光線で全人類が石になってしまって文明が消滅してしまった 3700 年後の世界で、主人公の科学オタクの石神千空たちが、科学を武器にして、文明を復活させていく話です。千空は仲間を集め、地道な実験とクラフトで科学文明を取り戻していきます。

キャラがみんなカッコいいです。

アニメ化もされている人気作品なので、ぜひ読んでみてください。

(担当: 2D)

著作権法上
書影削除

<本の紹介>

『キングダム』 原泰久/著 集英社

古代中国の春秋戦国時代を舞台にしています。物語は、戦争孤児の信が大將軍になる夢を追いかける中、秦王・政と出会い、共に中華統一を目指す様子を描いています。信は、戦場での試練を乗り越えながら、彼の成長と仲間たちとの絆が物語の中心となっています。

キャラそれぞれに魅力があり、おもしろいです。アニメ化もされている人気作品なので、ぜひ読んでみてください。

(担当: 2C)

著作権法上
書影削除

<紹介本が気になった人におすすめ！>

著作権法上
書影削除

『面白くて眠れなくなる
化学』
左巻健男/著
PHP 研究所

著作権法上
書影削除

『始皇帝中華統一の思
想：『キングダム』で解く
中国大陸の謎』
渡邊義浩/著
集英社

著作権法上
書影削除

『一冊でわかる中国史』
岡本隆司/監修
河出書房新社

<第2回教養講座振り返り>

・教養講座アンケートでの質問に回答をいただきました！抜粋して紹介します。

Q. ドイツでは日本のイメージはどんなものですか。

A. 出身を聞かれて日本だと言ったときに、変な目で見られたことは幸い今まで一度もありません。これも先人の努力の賜物ですね。伝統文化、空手や合気道や柔術などのスポーツ系、アニメや漫画のサブカルチャーなどに興味を持っている人は多いです。食べ物も、日本人はしょっちゅう寿司を食べている、もしくは寿司を日常的に家庭で作っている、とされています。

Q. 地域活動が比較的活発に行われているとのことですが、人種的多様性が保たれている背景の中で、衝突は発生しないのでしょうか。

A. 地域活動には全員が参加しているわけではありません。サッカーならサッカーに関心を持っている人が集まりますし、ウサギなど小動物愛好会もあります。同じ興味を持った人が集まる、ということなので、特に人種による衝突、というのは聞きませんね。私はキリスト教徒ではありませんが、音楽に興味があるので教会のトランペットクラブに、大変下手ですが参加しています。みなさんそれを知っていて受け入れてくれています。

Q. 日本文化（特に伝統文化）はどのくらい認知されていますか。

A. 相撲、空手、忍者、将軍、茶道 (Teeceremonie)、芸者、着物、禅、瞑想 (メディテーション) といったワードは広く認知されています。日本の花見に行きたい、という人も多いです。意外だったのは北野武が映画監督やコメディアンとしてではなく、「風雲たけし城」(という昔のテレビ番組、ドイツでは Takeshi's Castle という名) での破天荒な人、として知られていることです。

<一緒に講演をして下さった講師の娘さんの感想を紹介！>

・英語の授業が簡単だった
・講演会でみんな静かに聞いてくれたが、あとで質問がたくさんあったので驚いた
・本当に生徒が掃除するんだなあ。それはしたくないなあ。
↑日本のように生徒が学校清掃をしている国よりも専門の清掃員が学校清掃を担当している国の方が多いです。ドイツは後者です。